

祭会に入ってる思う

松前町に生まれ、43年が経ちました。その間、結婚し二人の娘にも恵まれました。自分が幼い頃の楽しかった思い出として残っているのが、秋祭りです。今でも袋いっぱいにお菓子を帰ったのを覚えてます。あと迫力のある獅子舞いの踊りでした。

そんな私も今では祭会に入り4年目になり、獅子舞いを担当させて頂いてます。祭り前の時期は練習で大変ですが、それを含めて祭り当日までとても貴重な経験をさせて頂いています。

昨年の祭りは1日雨でしたが、猿役の二人の娘と1日頑張る事ができ、とても充実した日でした。

この素晴らしい祭りを絶やさないためにも、微力ながら地域に貢献できたらと考えています。

西高柳 岡田尚久

～会長より一言～



今年は梅も遅れ気味の春がやっとやってきました。

皆様、健やかな日々を送っていらっしゃるかと存じます。

松前町議会も、第1回議会報告会を開催し、町民の誇れる議会に近づいています。

身近な町議会が正常に働くかどうかは、町民一人一人の責任です。住民の声の届く町民のための議会であるよう、関心を持ち続けていきましょう。

大西多美子



藤岡みどりの

ワクワクレポート



第19号

2018.03.15 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会  
代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡緑  
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1  
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131  
ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>



『今年は成年、ワンダフルな年になりますように・・・』

★2月に入って厳しい寒波に襲われた日本列島、その波が経済界にも波及

大幅なドル安、株価暴落とアベノミクスも黄色信号でしょうか？

★平昌オリンピックで少しは持ち直しても、北朝鮮の動向が不気味に影を落とし、核の脅威は少しも衰えず、拉致問題解決への道などは逆に遠のいてしまった感があります。

★お椿さんが終わると、伊予路に春が・・・と言われてますが、私たちの暮らしに、松前町にとっても温かい春風が吹いてくれるでしょうか。

★さて岡本町政は、1期目の中ほどを過ぎ、ホップ、ステップ、ジャンプでいえばステップの年度となります。3月当初予算がその指標となるのですが、去年から積み残した問題、これから手がける計画実行に向けての準備、公約実行に向けて色々な取組みについて数字で表示されてきます。

★私たちは議員活動を通して、それらをチェックし、議決に向けて審議していきます。その様子を見に、傍聴に来られませんか。

★去年の台風18号の重信川氾濫の危機的状況下での地域防災力の重要性を改めて痛感し、更なる防災力向上に向けて、防災士としての活動も、グレードアップしていきたいと考えています。

★今年は成年、ワンダフルな年にするもしないも自分自身の気力、体力にかかっていますが、皆さんの笑顔が力になりますので、よろしくお願い申し上げます。



売り子として  
お手伝いを

ネットワーク松前 2/25  
松前文化祭 フリーマーケット

観光ボランティアガイド講座 9/18  
松前町をもっとアピールするために！



身近なもので、避難所生活をより快適にできるように

西高自主防災総合訓練 12/10  
簡易の担架でケガ人の救出を



コムズフェスティバル 1/27  
(女性と防災の会主催分科会)



(月・水・金) AM9:00～PM5:00  
(火・木) AM9:00～正午まで

編集後記

今年の冬は例年になく冷え込んで、県内でも雪に悩まされた方も多かったようですが、気づけば春の訪れを感じられる季節になりました。

年度末のあわただしい時期ですこし寒さも残る3月ですが、春を探しに出かけてみてはいかがでしょう。心に余裕を持って、「楽しむ心を大切に」過ごしたいです。ね♪ (K.I)

メールアドレス

fujioaka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。

あの重信川が氾濫して堤防を越えるなんて・・・

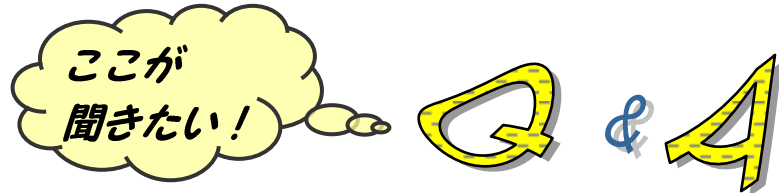


9/17夕方  
重信川河口近くは大変なことに

去年の9月17日、70年ぶりに重信川の氾濫危険水位が5メートル65センチになり出合橋の桁下すれすれまで水が来ていた。午後3時ごろから勢いを増す雨が、夕方5時過ぎから7時ごろにかけて轟音と突風で防災無線の音もかき消すような状態になっていた。ただ私たち地区の防災士は、自主防の会長からの集合命令で岡田小学校の避難所開設と共に、役場職員や学校の先生方と協力して準備態勢に入っていたので、次々と来られる避難者家族にも対応し、まさに毎年行う地区の総合訓練を生かせる行動ができた。

結果的には重信川の大々的な溢水にはならず、人的被害はなかったが、色々な課題も見つかかり、防災力の大切さを痛感させられた。

～みどりの一般質問より～



9月

Q. 町内中学校の『ブラック部活動顧問』というイメージは  
A. 28年10月から部活動に休養日を設定。授業日は週1回、土・日・祝は月2日以上、長期休暇中は週2日以上と定めた。教職員の意識改革、学校行事や会議の見直しなど校長会と協議を重ね、29年6月から出退勤時刻の記録、お盆の3日間の学校閉鎖、ノー残業デーなどの取組みを行っている。

町内3中学校の部活動顧問32人中13人は教員自身が、経験値の浅い17人は外部指導者の協力を得て部活動運営をしている。

(^o^) 現在は、町内中学校の部活動長時間労働の問題はない

Q. 国体後の松前町ホッケー公園をどう活かすのか

A. 指定管理者制度の導入を検討。県内唯一の日本ホッケー協会公認の競技場であるため強豪チームの誘致や有名選手の招待各種イベント開催など、「ホッケーの町松前」のイメージ化を。

グラウンドゴルフ、フットサルなど多目的利用もできる。

(~o~) 多くの町民に親しまれるホッケー場になるような取組みを



12月

Q. 台風18号の風水害への対応は(5項目で)

- ①住民への避難呼びかけのタイミングは  
A. 勧告に先立ち避難準備、高齢者への避難開始発令が遅かった
  - ②防災行政無線の効果は(聞こえなかったとの声が多い)  
A. 携帯電話に直接防災無線の情報が入るシステムの導入  
・携帯電話のない人向けに無線の戸別受信機購入の助成を
  - ③避難場所での備蓄は  
A. 毛布や水の備蓄品につき避難所での分散備蓄も検討中
  - ④地区防災計画のモデル地区で作成の予定は  
A. 名乗りを上げるように働きかけをしていきたい
  - ⑤重信川流域の堤防内部の漏水問題は  
A. 局所的な堤防侵食及び漏水箇所の早急な対策を県に要望
- (>o<) 風水害の防災にも課題が山積み・・・

いろいろありました ～こんなこと、これからも～

<地方議会セミナー> 11/6(東京にて)

2部構成の地方議会総合研究所のセミナーに参加

①「防災、危機管理における地方議会の役割」：各分野における議員の対応について、4パターンの説明を受けた。

- a. 災害発生直後の応急対応
- b. 復旧時における対応
- c. 復興時における対応
- d. 災害発生前における対応

実際にマニュアル化したり規則作りした先進事例を基に学んだ。またその経緯や内容の重要点も示され、執行部に対してもその必要性を迫ることもできる。

②『公共施設のあり方と地方議会の役割』

高度経済成長期に建設、整備された道路、橋りょう、学校、公民館など公共施設の老朽化が目立ち、大量更新は待たない。一方で自治体財政は窮屈な運営を迫られており、こうした背景の中での公共施設の再生をどのように効率よく適正化させていくかが議会にも問われ、住民への説明責任が重要になってくる。

★検証と評価の重要性から公共施設のマネジメント、さらに統合的管理についても話が及び、先日の研修で行った佐倉や武蔵野市のことを思い出し、改めてその重要性を確認した。



議会報告会から

去る2月7日、文化センター2階のふるさと学習室に、約80名の町民が参加。松前町議会が初の議会報告会を開催し、全90分の過程の中で前半に議会の活動内容を説明、10分の休憩後の後半は、住みやすいまちづくりについて意見交換の時間としました。

町民の皆さんの行政や議会に対する熱い思いや意見、提言など後半の司会をしていた私にとっても、初めての経験で大変緊張する場面もありました。どんな意見や質問が飛び出すかわからない中でしたが、回答できるものは即座に担当議員が対応し、その場で、回答できないものについては後日返答という形をとり、何とか無事閉会することができ、お帰りにはアンケートにも協力して頂きました。

概ねいい評価を頂き、今後の続行と校區別やテーマ別など色々な形を考えてほしいとの声に着実に応えていきたいと決意を新たに致しました。



各分野の研修

★防災士スキルアップ講座にて(11・18)

消防学校で行われた県主催の講座に参加して、地区防災計画を作る目的や実践例、そのプロセスなど新居浜市の金栄校区の例を紹介しながら、取組みについての課題や計画策定時の注意点などを聴き、そのあと2時間かけてワークショップに入った。



テーマは「地区防災計画における要配慮者への支援について」

★伊予地区ごみ処理施設管理組合の視察研修にて(1・25～26)

1日目は宝塚クリーンセンターへ。ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を施された先進的設備を見学。

私は中学生の頃から30歳ぐらいまでこの地に住んでいたのだが、武庫川沿いにこのような施設が何十年も前からあったことは知らなかった。

通路からガラス窓越しに、焼却炉の全可動状況が見えてとっても参考になる研修となった。



2日目は加東市のパナソニック家電リサイクル工場を見学。大型家電の冷蔵庫、洗濯機、エアコン、液晶テレビを年間70万台以上を処理して、アルミ、銅、銀、プラスチックなどの原料を取り出し、新しい製品を生み出す工場へつないでいる。

最新の技術を駆使して稼働していくレーンを観ながら、環境に優しいシステムを構築している姿に感動した。

